

同時資料配布先：

経済産業省記者会

学研都市記者クラブ

2015年8月3日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

## 第5回 革新的 CO<sub>2</sub> 膜分離技術シンポジウム ～ 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～

当機構が加盟しております次世代型膜モジュール技術研究組合では、広くご関係の皆様にご研究成果を紹介するため、10月2日に「第5回革新的 CO<sub>2</sub> 膜分離技術シンポジウム」を開催致します。

本年のシンポジウムでは、基調講演として、温暖化対策の動向と CCS の役割、高分子気体分離膜の現状と将来展望、石炭ガス化技術、IGCC 関連技術の最新動向についてご紹介いただきます。また、海外の CO<sub>2</sub> 分離回収技術の最新動向や当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の進捗についてご報告いたします。

CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞きいただける絶好の機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 1. 開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留 (CCS : Carbon dioxide Capture and Storage) は、温室効果ガスの大気中への排出削減効果が大きいこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つとして期待されています。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール実用化研究開発事業) を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外での二酸化炭素分離回収技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的としています。

### 2. 開催概要

主 催： 次世代型膜モジュール技術研究組合

共 催： 経済産業省

後 援： 日本 CCS 調査株式会社、Global CCS Institute、  
公益社団法人新化学技術推進協会

協 賛： 日本膜学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人高分子学会、

公益社団法人日本化学会

日 時： 2015年10月2日（金）13時～17時（受付開始12時30分）

会 場： 東京大学 伊藤謝恩ホール（本郷キャンパス 赤門東隣り）

参加費： 無料

プログラム（敬称略）：

- ・ 基調講演「温暖化対策の動向と CCS の役割（仮題）」  
（公財）地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一
- ・ 基調講演「高分子気体分離膜の現状と将来展望」  
首都大学東京 都市環境科学研究科 教授 川上 浩良
- ・ 基調講演「石炭ガス化技術、IGCC 関連技術の最新動向（仮題）」  
電源開発株式会社 技術開発部長 笹津 浩司
- ・ 講演「海外の CO<sub>2</sub> 分離回収技術の最新動向」  
次世代型膜モジュール技術研究組合
- ・ 講演「次世代型膜モジュール技術の進捗について」  
次世代型膜モジュール技術研究組合 専務理事 中尾 真一  
（詳細は別紙をご参照ください。）

### 3. 参加登録

参加を希望される方は、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mailにて [mgmsympo@gmail.com](mailto:mgmsympo@gmail.com)宛てにお申し込み下さい。（定員 200 名 先着順に参加登録）

### 4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前にお申し込み下さいますようお願い致します（やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい）。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問合せ先：

次世代型膜モジュール技術研究組合 三上、菰野、大西

TEL：0774-72-0230 E-mail：mgmsympo@gmail.com

○本プレス発表に関するお問い合わせ先：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、辰巳

TEL：0774-75-2301 E-mail：pub\_rite@rite.or.jp

# 第5回 革新的CO<sub>2</sub>膜分離技術シンポジウム ～ 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～

平成27年10月2日（金） 開 催

時 間 : 13時～17時（受付開始12時30分）  
 会 場 : 東京大学伊藤謝恩ホール  
 参加費 : 無料  
 主 催 : 次世代型膜モジュール技術研究組合  
 共 催 : 経済産業省  
 後 援 : 日本CCS調査（株）、Global CCS Institute、（公社）新化学技術推進協会  
 協 賛 : 日本膜学会、（公社）化学工学会、（公社）高分子学会、（公社）日本化学会

## 開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留（CCS：Carbon dioxide Capture and Storage）は、温室効果ガスの大気中への排出削減効果が大いこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つとして期待されています。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、効率的な石炭ガス化発電として期待されているIGCC等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発（二酸化炭素分離膜モジュール実用化研究開発事業）を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは、当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外での二酸化炭素分離回収技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的としています。

## プログラム

13:00-13:05	開会			
13:05-13:10	主催者挨拶	次世代型膜モジュール技術研究組合	理事長	西岡 務
13:10-13:15	共催者挨拶	経済産業省 環境調和産業・技術室		
13:15-13:55	講演1 基調講演	「温暖化対策の動向とCCSの役割（仮題）」 （公財）地球環境産業技術研究機構	理事長	茅 陽一
13:55-14:35	講演2 基調講演	「高分子気体分離膜の現状と将来展望」 首都大学東京 都市環境科学研究科	教授	川上 浩良
14:35-14:55	休憩			
14:55-15:45	講演3 基調講演	「石炭ガス化技術、IGCC関連技術の最新動向（仮題）」 電源開発株式会社 技術開発部長		笹津 浩司
15:45-16:10	講演4	「海外のCO <sub>2</sub> 分離回収技術の最新動向」 次世代型膜モジュール技術研究組合		
16:10-16:50	講演5	「次世代型膜モジュール技術の進捗について」 次世代型膜モジュール技術研究組合	専務理事	中尾 真一
16:50-17:00	閉会			

\*上記プログラム内容については、変更されることがあります。

○ 会場のご案内

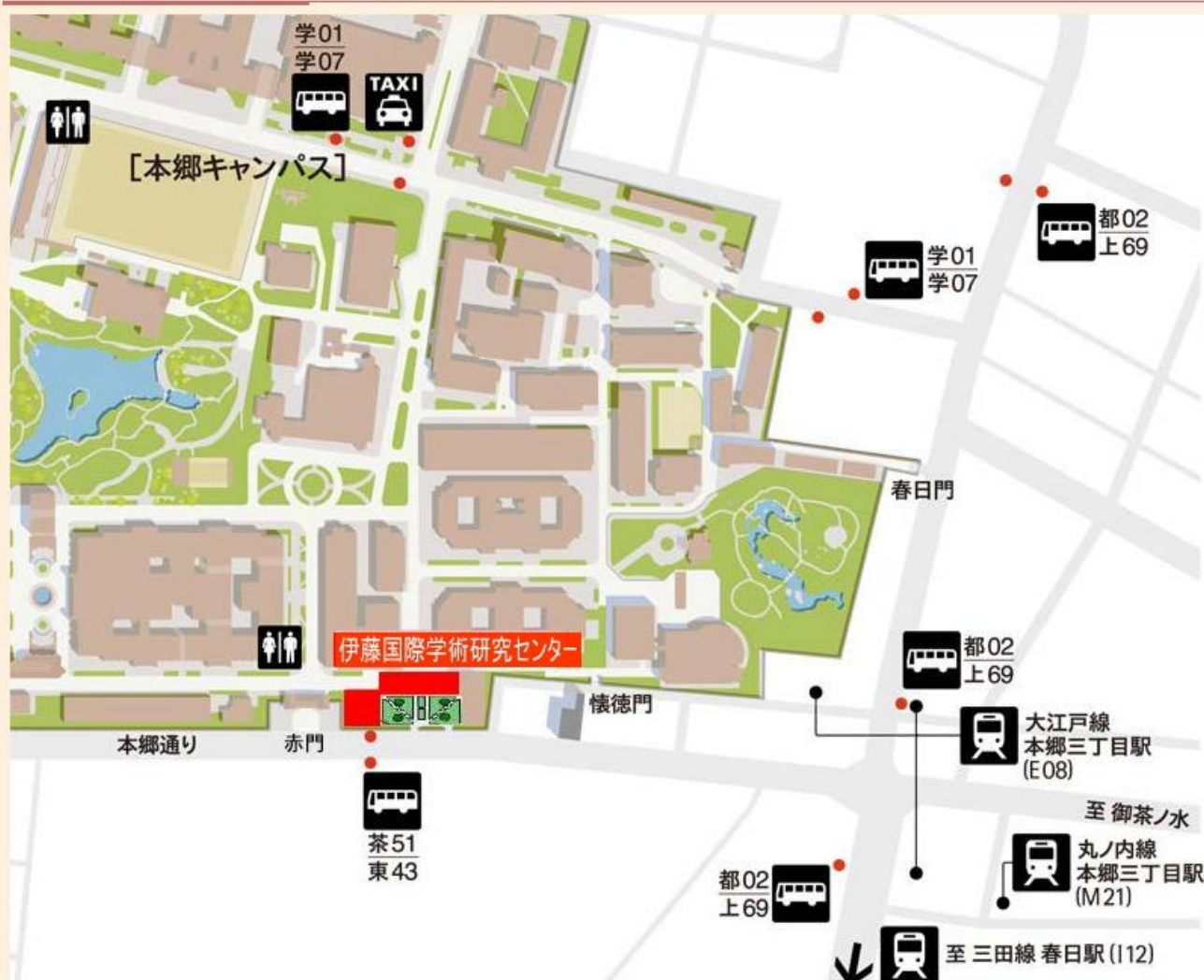
東京大学伊藤謝恩ホール (〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1、TEL 03-5841-0779)

【アクセス】

電車・バスでのアクセス

		最寄り駅	所要時間
		本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩8分
		本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩6分
		湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩15分
御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車	
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車	
	都バス利用	茶51駒込駅南口又は東43荒川土手乗車所前行 ↓ 東大(赤門前バス停)下車	
	学バス利用	学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車	
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用	都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車	
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用	学01東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車	

最寄り駅およびバス停から伊藤国際学術研究センターまでの地図



- お問い合わせ先  
次世代型膜モジュール技術研究組合  
TEL:0774-72-0230  
E-mail : mgmsympo@gmail.com

参加お申し込みはE-mailにてお願いいたします。  
所属、住所、氏名、電話番号をご連絡ください。  
定員は200名で、先着順にお受けいたします。

S U P P O R T E D   B Y

